全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

http://www.shijuku.net

第42号(平成25年５月号)

Photo by Joh Tadamichi

木霊 ーやまびこー

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局　仲野十和田
〒173-0005　東京都板橋区仲宿55-8-205　ナカジュク内
TEL:03-3963-5572　FAX:03-3963-2529
Mail:center-office@shijyuku.net

理 事 長　湯口　兼司
TEL03-5743-7458
広報部長　大住　明敬
TEL048-957-8608

理事長 コラム

理事長　湯口 兼司（香川県 ・湯口塾）

4月14日にオークラホテル丸亀にて私塾ネットの全国研修大会を開催いたしました。前日の土曜日から参加して頂いた方々は、当然のさぬきうどんを食べてから、金毘羅さんに参拝しました。1300段の石段を登り本殿へ、そこからは讃岐平野が一望することが出来、瀬戸大橋、お天気が良ければ岡山、広島まで見渡せます。残念ながら当日は春霞がかかり対岸までは見えませんでしたが、瀬戸の島々や凪いだ海に浮かぶ船が見えました。帰りには代参狗（だいさんいぬ）の付いた金色のお守りを買って帰られました。きっと今年は金毘羅さんに守られた一年となることでしょう！　夕方からは小野塾を皮切りに稲伸ゼミナール、東進衛星予備校丸亀駅前校と四国の元気な塾を見学して頂きました。12年前に三団体が結集して私塾ネットとなってから、全国大会が地方で開催されるのは青森、八戸以来となります。四国の仲間に助けられて香川、丸亀での開催となりましたが、今回二つのことを強く感じました。一つは言うまでもなく四国のメンバーはひとり一人が自分の役割を見事にこなし、名前こそ挙げませんが、準備から最後まで完璧に自分の仕事をしてくれたことです。本当に有り難いと思いました。勿論センターから田中研修部長、仲野事務局長は先乗りで丸亀に入り、細かいところをチェックして、準備を手伝ってくれました。もう一つはこの全国研修を毎年企画し、東京で実施してくれている関東エリアの先生方、そして谷村会長を始めとするセンターの役員の方々のご苦労です。四国でやってみて初めて、当たり前のように毎年やってくれている先生方のご苦労を実感しました。そして私が理事長になってやっと一年が過ぎました。その間に関東で行われる他団体のイベント等には谷村会長、鈴木副会長、仲野事務局長が全てを代行してくれました。みなさんに感謝！感謝です。当日研修会、二次会と続いた後、萩の間で開かれた反省会（別名、愛の説教部屋）は真夜中2時を過ぎて40人以上の塾長達が楽しそうに且つ熱く語っておられたことを報告して終わりといたします。

全国研修大会に参加して・・・・・

私塾ネット　広報部長　　聖学舎　大住明敬
(原稿協力：仲野十和田、渡辺浩　先生)

全国研修大会が東京以外の地で開催されるのは、青森県の八戸市に告いで2回目です。

関東から参加する者として、本来の研修報告とは違った視点から書いて見ます。

地方の良さは、失礼なことかもしれませんが、観光がプラスされることでしょうか。初めて訪れる地へのワクワク感、新しい何かを発見できるかもしれない期待感など本来の研修の仕事以上に盛り上がります。今回の丸亀開催でも、研修会の前日に、琴平の金毘羅さん参拝、そして名物のうどんを食べるコースを設定していただきありがとうございました。12名の方が参加されたようです。私は地元出身なので実家戻りがあり、参加できませんでしたが、関東からの参加者は皆満足したとのことでした。寺嶋先生の先導の下、まず先生行きつけのうどん屋さんに行きました。讃岐うどんはコシとダシに特色があります。皆さん美味い、おいしいの連発でした。続けて階段で有名な金毘羅宮へ行きました。1368段を一気に上るのは大変ですが、上りきるとなんともいえない爽快感がありますよ。でも途中まで車も行けるようになっていて、便利になりました。上から見る景色がまた素晴しいです。富士山みたいに征服したというよりも自然の中で生きている、自然と一体感を感じます。下りも大変ですが、昔風の建物が並ぶお店の中で、1ヶ所近代的なおしゃれな店がありました。資生堂のフルーツパーラーです。皆さんここで一休み。おいしいフルーツいただきました。ありがとうございました。

また、地元の塾見学も楽しみの一つです。関東とは違った塾の良さをこれまた発見できるのです。(研修会の日程が取れなかった青葉学院の作久田先生はこの塾見学のためにいらしたようです。)今回は、小野塾・稲伸ゼミナール・学習院セミナーの3塾見学させていただきました。小野塾の小野先生は、私にとって丸亀高校の後輩ですが、地元密着で着々と生徒数、知名度を上げられているやり手です。一斉指導の塾形態を基本とされていますが、リビングを開放して個別の指導をする独特の経営も順調のようですね。何よりも職員を大切にしていこうとする姿勢に賛同します。続いての稲伸ゼミナール・山本先生の塾は塾銀座と言われるぐらい塾の多い場所にて特色ある塾経営をされています。特に最近東大合格者も増えている地元の私立中学、大手前中学に特化したクラスを設定されていることに興味を持ちました。最後は四国代表・寺嶋先生の学習院セミナーです。今般高松にも東進スクールの提携校を出されたとのこと。大学受験で、東進のシステムはどこも評判が良いようですが、各校舎の特色が勝負です。独自性を出されているようで頼もしいです。

本編の、研修会報告を書く前に紙面がなくなりそうですが、素晴しかった研修会当日にも少しコメントします。四国の塾人はみんな仲が良いな。絆でつながれているなと感じました。理事長が率先して動かれていることもありますが、とにかく皆さん頑張られています。関東としてももっと見習うべき点がたくさんあると感じました。また若い人も多く、これからもっと活性化していくのではないかと予感しました。羨ましいです。一つ懸念したのは学校との関係です。懇親会などに関東では多くの学校が参加されますが、少なかったです。私立学校の数も少ない。県立高校志望が多いことも関係しているとは思いますが、もっと学校と塾の接点レベルを下げることも必要ではないでしょうか。

楽しみの3つ目は、懇親会、2次会です。今回は物凄い量の食事が出ました。有名うどん屋さんが出店を出してくれ、至れり尽くせりです。お開きのときにたくさんの食べ物が残っていました。もったいなかったです。この会で多くの新しい友人を得ました。今後の塾経営の参考になる話もたくさん聞きました。さらに、夜中の大反省会では貴重な気づきもありました。

とにかく今回の研修は今までにはない多くの貴重な体験ができたと思います。地方での開催は、遠距離の関係で参加しにくくなることは確かですが、全国組織である私塾ネットが1年に一度その地域で一つになれるのです。これからも色々な地方での開催に勇気を与えてくださった四国の研修会でした。皆さんご苦労様でした。

研修大会の喜多川泰氏の講演の要旨を、楠山副理事長がご自分のブログに掲載をされている。研修大会をやむなく欠席をされた方、あるいは不幸にも講演会を寝過ごされた方のために転載をさせていただくこととなった。（編集部注）

喜多川泰氏講演要旨

いい高校、いい大学、いい会社に入っても不安定な時代。この時代だからこそ塾の役割は大きい。氏は塾に就職して、新入社員30人の中で一番できの悪い教師であった。その後努力した結果、生徒の評判があがり、生徒の成績が上がった。

生徒のモチベーションをあげて合格させていったが・・・　あるとき卒業生と会って「してない」っていう返事。元来塾は生徒の生きる力を伸ばすところのはずだ。勉強を教えるところではない。
それぞれの人間にはそれぞれの役割がある。
「自分の使命と出会うようになった」と思わせるところである。

生徒には「自分の将来が今はわからないが自分の持っている可能性に驚くことの大切さ」を、勉強をしない子に、母が勉強しなさいという。「お前のために言っている」といっても本人は動かない。
「お前のために言っている」といっても本人は動かない。「あなたはこれだけの人を、こんなに人を幸せに出来る」。

この理想に対して動くのだ。氏は社員にもこういう塾にしたいという。そして自らそのように動く。何のために勉強するかを伝える。

内面を磨く生徒は塾にお金を払って安心感を買っている。生徒が勉強がわからなくなったとき低学年なら母が教える。子どもが「わからない」っていう。母は腹がたってくる。

これは初めから子どもは受け入れる気がない。どうせ無理と思ってしまうとわかろうとしない。
塾では勉強を教えるが生徒は理解することが困難ではなく実は、やる気を出すことが難しいのである。

「どうせできるようになるからうだうだ言わないでやってごらん」。
自分でできるようになるまで話をする。そうすると生徒は勝手に勉強を始める。
「先の一番いい状態を想像しても、それは限界ではない」という。
そして、心に寄り添うことが大切なのだ。

賢くなるな。
勉強をすることは、知識の足し算。足し算することでは幸せではない。勉強することで困難に遭遇し引き算を覚える経験によって自分ができないことを悟る。

生徒が何かをやろうと思ったとき、一番反対するのは身近な人間だ。どうせ・・・生徒は内心頑張れる自分と出会いたいと思っている。
生徒は本気になることが年に5回はある。
外野の「真面目にやったらばかをみるよ」という連中に「うん僕はばかたから」といえ。

自分を止める一番の原因は自分である。恐いから、今まで通りの自分でいようとする自分の背中を押すのも自分である。

本気でやろう
今の時代何をやっても安定しない。本気でやることでなんとかなると語り続ける。氏も自分がやっている仕事から世界が見える、塾から世界を変えられる、と確信している。

逃げることはだめでくせになる
「本気でやると結果がよくなる」はウソである。しかし、本気でやることが楽しいとわかる。

英語が話せるようになることより、何を話すかが大切なのだ。
回り道をすることが大切である。
「私立文系に決めたから、数学は要りません」。のような取捨選択は今の自分に都合の悪いものを切り捨てることになる。
大切なのは自分が知らない自分の可能性に驚くことだ。
氏も理系の自分がまさか物書きになるなど想像すらできなかった。

損得く情熱
世の中の判断基準は損得である。確定している未来にしか動けなくなる、損得ならば。

損得よりも情熱
同じお金で倍働く方が得なのだ。遠回りすることで、それ以外のことを学ぶ別の何かを得ている。もっと違うものを行動の基準にするべきである。
夢の実現の仕方
自分の夢の実現の仕方は他の者の夢の実現の仕方に当てはまらない「あきらめないから夢が叶う」はうそだ。夢がなくとも大丈夫
働くことで出会う、自分の使命と出会うのだ。

塾は最短距離で目標を達成するところではない。到着する椅子が決まっていたら、遠回りすることの方が競争はない。

塾の経営も情熱をベースにする
価値観の合った生徒だけにすれば、塾経営が危機になる。氏の塾では生徒の成績や合格実績を出さない。ただただ理想を語る。
理念を語って生徒を集める。

自らほんとにやりたいことをやるべきだ。
ベストを尽くしてベストを疑うことが肝要。
過去の成功体験が会社を潰すことになる。
同じことをやってもだめ。
その時のベストであって今のベストではない。
ベストは今日の最高の自分で、未来最低の自分がいる。

わかるとできるは全く違う
分かってから、できるまで反復練習が大切なのだ。
これが苦痛、この痛みを知っている先生と過ごすことが生徒の財産である。

want toとhave to
「やりたい」ことが「やらねばならない」に変わる。
やりたいことを変えれるリーダーになる。このことから逃げていてはリーダーになれない。

全ての人が普通にできる相手の予想を
ほんのちょっとだけ超えることが大切。やらねばならないことを一生懸命やることで時間を忘れるはずだ。

「電球を作ることが仕事ではなくあなたの仕事は幸せな家族を作ること」（松下幸之助）
誰かが喜ぶことをやる喜びがある。

国際人を育てることは、日本のことをよく知る人材を育てることである。
英語を勉強することより日本の文化を学ぶべきである。
今の常識で将来を判断することは間違いである。
情熱を持って語る塾こそが今を生きうる塾である。

喜多川氏の講演内容のキワードは
「生徒の感性を受け止める。徹底して生徒に寄りそう。
理想を語り続ける」
であると、小生は思う。

楠山敬志（楠山ゼミナール）

エリア通信

エリア東北　瀬川具樹
青森県　一伸進学ゼミ

報恩謝徳

この度、学習塾尚志舎渡部先生のご紹介で私塾ネットに加盟させていただいた一伸進学ゼミの瀬川と申します。青森県三沢市に開塾いたしましたのは昨年の11月。同じ東北エリアの渡部先生をはじめ、扇野先生や安藤先生、諸先生方並びに皆様方の温かいご指導とお力添えを賜りました。この場をかりて深く感謝し御礼申し上げます。

さて、開塾から半年が経ちましたが、いまだに慣れないことの連続で右往左往の日々。幸運なことにスタッフに恵まれ、助けられつつ、一つ一つの仕事に取り組んでおります。日頃から「すぐやる！ 必ずやる！ 出来るまでやる！」と、永守重信さんの言葉を借りて子供たちに話してまいりましたが、今となっては自分自身に言い聞かせる金言となりました。巷では「いつやるか？今でしょ！」のフレーズが飛び交う昨今。私が「すぐやる！ 必ずやる！ 出来るまでやる！」と生徒たち言えば、「いつやるか？今でしょ！（笑）」と、「完全にパクリでしょ（笑）？」と返ってきます。そんな子供たちとのコミュニケーションも私の元気とやる気の源です。

当初、地元八戸市で開塾するつもりではおりましたが、安藤先生より以前の勤務地である三沢市に良い物件をご紹介いただいたのが9月下旬。それから駆け足で準備をし、11月11日にオープンの運びとなりました。それから1カ月で生徒数は50名を超え、冬期講習では70名余り。11月から受け持った30数名の高校受験生に、時間がある限り必死で指導したのはつい昨日のことのように思えます。子供たちもよく頑張ってくれました。一緒に突っ走り、気が付くと3月の上旬。受験生が卒業した後の塾生の人数を考えると青くなっておりましたが、現在の生徒数は90名余り。予想もしていなかった数の入塾者に、ひとまずホっと胸をなでおろしました。

お客様の顔をよく見ず、人を早くさばくことで利益を優先する回転ずしのような運営。今ではよくみかける手法ですが、私はそんな運営を望んでおりません。お客様の顔を真っ直ぐに見て、真摯に向き合う職人気質の寿司職人のような、そんな指導を目指しております。目先のテストや入試より、子供たちの将来を考えて誠心誠意、指導に当たっていきたいと思います。開塾に際してご助力くださった皆様方への感謝の気持ちを忘れず、これからも努力の日々です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

エリア関東　広報部　中村直人
（神奈川県・中村学院）

長江先生宅を訪問する

黄金連休初日の28日日曜日に、谷村会長、鈴木・山本ご夫妻、千葉の松浦先生、会計の竹内先生、そして私中村の６名が、長江先生のご自宅を訪問いたしました。

皆様ご存知の通り、現在長江代表は、ご自宅で病気療養中であり、それのお見舞いと励ましに伺うことがまず第一の目的でした。また、5月16日に行われる私塾ネットエリア関東総会の準備のための打ち合わせも、大事な目的の１つでもありました。

長江先生は、当日は顔色もよく、座っておられる限りは、何事もないようではありますが、まだ復帰にはお時間がかかりそうです。補助具を使えば、一歩一歩の歩行も出来、ご自宅入り口の階段の上り下りもリハビリとしてやられているそうですし、またデイサービスなども利用され、日々回復に努められております。

まず、先日の丸亀での研修大会の報告と清算。総会報告の決算・予算のチェック。次期ネット関東の役職について鈴木代表代行からのお話。その他最近の会の問題点等について話し合いをしました。

会の公の話の後は、皆で楽しく話をして、おじゃまして約３時間たった午後６時ごろに、おいとましました。　長江先生もネットの仲間の来訪を喜ばれ、皆楽しい一日を過ごすことが出来ました。

［　番外編　］

休みでまだ明るいとなれば、この面子での考えはひとつ。川崎に出て、某先生発掘の居酒屋でアルコール会議と相成りました。春宵一刻なんとやら。時間がたつのは早く、午後９時頃川崎の夜にお別れをして、帰途に着きました。

長江さんを囲んで記念写真。後列右から鈴木、山本、松浦、竹内、長江広紀、前列右から谷村、長江、同婦人由美子（敬称略）（撮影中村）

エリア中部　代表　松本　紀行
（長野県・チャレンジ学院）

先日、社員の結婚式に行きました。山梨県のリゾナーレという結婚式場でしたが、朝から雪が舞っておりました。標高1,000メートルというのは確かに寒いですね。でも笑顔の素敵な新婦に会えて、温かい気持ちになりました。昨今の厳しい不況下の中で、久々にホッとしたひと時を過ごさせて頂きました。

2月のことですが、経営学の腕を磨こうと、エイスウクラブに参加致しました。東京赤坂のど真ん中に、堅固でオシャレな佇まいのビルを発見しました。いやしくも、「何億円かかるかな？」と胸算用してしまいました。山本代表の力量は前から承知しておりましたが、「さすがだなぁ、敵わないなぁ」と。京都の和風邸宅や、三重県の一万坪の研修所、そして海辺の保養所など、見習うところばかりです。

話は変わりますが、上諏訪校を新築オープン致しました。これからたくさんの塾生を集めて、楽しくやりたいなぁと思っております。夢は“頭がよくて、思いやりのある国際人を育てる”ことです。すぐ近くに『霧ケ峰林間学校』がありますので、思いっきり勉強させ、満足するまで遊ばせたいな、と思います。春は山菜を摘み、夏は流しそうめんをし、秋はキノコ採りを、冬はスキーを楽しませたい。はじけるような子供たちの顔が目に浮かびます。ちなみに、チャレンジ学院の社是は「仲良く　楽しく　そして挑戦」です。昨年度の大学合格者数は88名でした。地元の信州大学に10名、国立大医学部医学科に2名が顕著なところです。

さて、長野県の入試情報を少しお伝えしたいと思います。長野県下では公立中高一貫校が現在ひとつあります。来年度から、諏訪清陵中学（仮称）が開校します。高校入試では、各高校ともいろいろな工夫をしております。例えば、上伊那農業という高校がありますが、若者向けするコース内容に改良し、人気を博しております。私共が主催している「長野県高校入試統一テスト会」は、年2回公開模擬試験を実施しておりますが、来る6月12日に第一回定例総会を行う予定です。入試そっくりテストを作り、8月と1月に受験して頂いて、進路判定に役立てております。

それでは結婚式での祝いの句をもって〆させていただきます。

ふたりして　築く石垣　花の城

エリア四国　　神野　純典
（香川県・神野進学教室）

１・ようこそ、青い国・四国へ

瀬戸大橋がまだ開通していなかった当時、本州から四国に渡るには、宇野から高松まで宇高連絡船で約1時間の船旅をしなければなりませんでした。船が高松の桟橋についてすぐ目に飛び込んできたのがこのフレーズ「ようこそ、青い国・四国へ」でした。国鉄の「ディスカバー・ジャパンキャンペーン」の一環として考えられたそうです。

今回、「全国塾長・職員研修」に、遠くは北海道・東北から関東・関西・中国・四国まで120名を超える先生方にお集まりいただき、盛会のうちに終えることが出来ました。これは、ひとえに皆様がたのお陰です。本当に有難うございました。

２．もう一度丸亀

来てくださった先生方には丸亀を思い出していただき、まだいらっしゃっていない先生方には「是非、おいでてほしい」ということで、これから少し丸亀の案内をいたします。

丸亀市は人口11万人あまり、西讃岐の中心都市です。岡山駅からＪＲで瀬戸大橋をわたって40分ほどで丸亀駅ですから、関東や関西から意外と近い。アクセスは良いと思います。

私自身は愛媛県の出身ですので、丸亀のことをあまり知りません。そこで、全国研修の翌週の日曜日、湯口理事長や寺嶋代表など香川県の先生方がおっしゃっていたことを参考に丸亀の町を少しぶらぶらしてみました。

３・丸亀のランドマーク・丸亀城

ＪＲの電車からでもその優美な姿を見ることが出来ます。特に石垣は見事。内堀から天守へむけ4層に重ねられた石垣は高さ約60メートル、石垣としては日本一の高さだそうです。

大手門を入ってしばらく行くと観光案内所があります。ここのボランティアガイドの方はとてもフレンドリー、むこうから話しかけてくれました。

観光案内所から約10分ほど坂道を登っていくと天守に着きますが、ここからの眺めは最高です。眼下に丸亀の町が広がり、右手には瀬戸大橋が児島にむかって伸びています。お勧めです。

４・全国一の丸亀うちわ

丸亀うちわの生産量は年間約8300万本、全国シェアの約90％を誇り、国の伝統工芸品にも指定されています。

「全国研修」の当日、参加者は、山田先生のコーディネートで、うちわの周囲に「へり紙」、鎌の両

端に「みみ」を貼る作業を体験しましたが、予約をすれば、丸亀城の観光案内所にある「うちわ工房『竹』」で、もっと本格的な製作体験をすることが出来るそうです。

うちわの穂骨制作の手ほどきをうける神野さん。よほど興味があるらしい。

さらに、港のほうに向かうと「うちわの港ミュージアム」があります。中に入ってみると、昼時ということもあり、ほとんど人はいません。ゆっくり見学することが出来ました。係りの方が「たいしたもんはないやろ」と話しかけてこられましたが、そんなことはありません。いろいろなデザインのうちわを見るだけでも楽しい。

５・丸亀のソウルフード「骨付鳥」

讃岐うどんはあまりにも有名なので、寺嶋代表が「是非ご賞味あれ」とおっしゃっていた骨付鳥を食べに、「一鶴」土器川店へ。

ローストチキンとはまたちがう、スパイシーでジューシーな味わい。特に皮がパリパリでおいしい。後日教材会社のＩ社のＩ氏と話をしていたら、偶然この話題になりました。彼曰く「一年に一度は食べたくなる味」だそうです。これを書いていたらだんだん食べたくなってきた。今度、時間を作って食べに行こう。

琴平名物灸まん本舗石だんや本店の風情ある店構え

金毘羅さんから見下ろす讃岐平野の絶景

エリア中国　塚本　幸一
（広島県・学習共同体河浜塾）

4月7日、関係者にご出席いただいて、学習共同体河浜塾30周年のパーティーを行いました。

冒頭河浜はこの会を、「感謝と交流の会」としたいと宣言し、会場は名刺交換・紹介・談笑の交流の場となりました。

地元FM局の人気番組「河浜一也のバラエティーナイト」に出演中のパーソナリティー仲間や河浜のもとに集まるアーティスト集団「Lusica Final Arts」所属のシンガー・演奏家・ダンスミュージックユニット・フォトグラファーたちが次々にパフォーマンスを披露、会を盛り上げてくれました。

挨拶に立った河浜は、「塾は質の高い教育を展開するために、継続可能でしっかりとした内容を持つ良質なものでないといけない。」しかも. 利潤のみを追求するのではなく、教育と福祉の合間を常に意識し、教育弱者も視野に入れること、そこに本来の教育の馥郁たる香りがある。」と述べました。その際には、河浜の震災ボランティアの体験 や子供たちの発達障害・不登校・高校中退の生徒たちの教育に取り組む方々も紹介されました。もちろん、当塾には、難関私学受験者や高校受験でもトップクラスをねらう生徒が数多くいます。でも、これから頑張らねばならない子もいます。その一人一人を大切にして、産業としての学習塾を押し上げる部分と教育と福祉という観点から行うべき部分のバランスを考えながら、全身全霊で情熱を持って、取り組んでいきたいと思います。

また、さらに、会に参加いただいた皆様から、たくさんのお言葉をいただきました。その中で、前佐伯区長の中田英樹氏は、河浜が昨年書かせていただいた二冊の本のうち、「景弘、平安の笛」を手に、「不断の努力によって得られた結果に人は感動する。努力は感動の種まきだ。感動多き人生を・・・」という部分を読み上げて下さいました。当塾は、これからも子供たちに感動が伝えられるように、身を引き締めて頑張っていきたいと考えています。彼らの傍らを流れる「感動の人生という時間」、毎年行われる当塾の卒業のパーティーで流される子供たちの感動の涙がそのスタートとなるように…。

エリア九州　代表　林　芳子
（宮崎県・Hayashi塾）

本州では、新緑がきれいな時期だと思います。こちら宮崎は、例年よりも気温が低い日が多くはありますが、夏の気配が日に日に濃くなっています。

夏が来るのが早い一方、塾の動きが遅いのもこちらの特色です。ゴールデンウイークが終わると中学では定期テストがあるのですが、ようやくそのころになって、入塾の動きが始まります。しかし、今年は、少しですが、動きが早い気がします。新中学１年生は例年とあまり変わりませんが、２年生が、特に早いです。

こちらの県立高校は、一般受験の前に40％程度を推薦で合格させます。ですから、一般受験は残りの分を争うことになるのですが、今までは、推薦の試験は、「面接」「小論文（とは言っても、６００～８００字程度）」で決まるのが一般的でした。しかし、新２年生の学年からは、推薦にも学力試験を導入することが決まりました。このことも影響しているのでしょう。

新２年生といえば、今更ながらの話題ですが、社会の地理。・・・小学校であまり詳しく習っていないのに、今学校でやっているところ・・・日本の位置、領土、山脈、平野、川、気候、人口問題等々、覚えることが多すぎて大変です。生徒たちは、代々地元で暮らしている家族が多く、あまりよその土地を知りません。雪を見たことがない、東京や大阪には、行ったことがない、という子がほとんどです。

社会科は、できるだけ身近なことから思考を広げ、自分で実感したことの中から知識を広げてもらうようにと考えて教えています。そうしないと、「ただ暗記するだけの科目」になってしまい、「つまらない勉強」につながってしまうからですが、覚えなくてはいけないことが多すぎて、なかなか難しいです。

先日、生徒のお母さんたちと食事をする機会がありました。そのときに、「先生、社会科って暗記ですよね。ひたすら暗記すればいいのだからって、子供に言っているんですよ！」というお母さんがいました。「いえいえ、違いますよ！　この頃は、文章で答えたり、グラフや表や地図から読み取って文章で答えたりする問題が増えていますから、暗記だけではダメなんですよ！」と、答えたのですが、食事の最中でもあり、あまり詳しく話せなかったのが心残りです。
でも、こう言ったお母さんもいました。「先生は、よく海外旅行に行かれますよね。塾の授業時間を１時間分つぶしてもいいですから、行った先のことを子供たちに話してください。きっと、実際に行かなければできない話があると思います。私たちがしてやりたくてもできない話ですから、是非に・・・。」

少しずつですが、何かがゆっくりと動き出したような気がするこの頃です。

私塾ネットセンター　会計部報告

会計部長　監物一男

会員の皆様には、日頃よりいろいろとご協力いただきありがとうございます。今年度も賛助会員の方々と各エリアのご協力の基、円滑な会計運営ができるよう、宜しくお願い申しあげます。現在、25年度のセンター会費の徴収を行っております。つきましては、各エリアごとに、センター会費を集めさせていただきたいと思います。詳細は、エリア代表ないしはエリア会計担当にお問い合わせください。

エリア代表者
エリア東北　渡部信雄（尚志舎）
エリア関東　長江勝秋（英数学院）
エリア中国　佐藤将紀（若竹塾）
エリア四国　寺嶋謙次（学習院セミナー）

又、エリア北海道、エリア中部、エリア近畿、エリア九州に於きましては、センター会計部より、個別にご案内をお届けいたしておりますので、ご確認ください。

又、賛助会員の方におかれましては、代表者の変更などございましたら、ご連絡のほど宜しくお願い申し上げます。

尚、今年度より下記の口座のみとなりましたので、詳細やご不明な点は、センター会計部　監物一男（048-688-6903　向学館内）までお問い合わせください。

【銀行振替でのご送金】
埼玉りそな銀行　七里支店
普通預金　　４４１３３１６
（口座名義）私塾ネット　会計部長　監物一男

以上、よろしくお願い申しあげます。

全国塾長・職員研修会

玉藻よし　讃岐の国は　国がらか　見れども飽かぬ
神がらか　ここだ貴き　天地　日月と共に　足り行かむ

日時：　平成25年4月14日（日）
会場：　「オークラホテル丸亀」

プログラム

第一部　研修大会　会場　　午後1時30分

①『まるがめ（丸亀）を知る』
午後2時00分～3時10分

◇　理事長　ごあいさつ
「ようこそ四国，香川，丸亀へ」
センター理事長　湯口兼司

◇ご来賓祝辞
・私学代表
・学習塾代表
・協賛企業様代表

◇伝統の丸亀うちわを作ってみよう

◇会長　ごあいさつ
谷村志厚（千葉　ＡＩＭ学習セミナー）

②基調講演　　午後3時30分～5時00分
～喜多川泰先生から「塾」を学ぶ～
喜多川　泰　（聡明舎　神奈川県）
『人とそして書との出会い
どうせ無理をぶっ飛ばせ！』

③『シェアタイム＆ごあいさつ』
午後5時00分～5時30分

◇学びをシェアする

◇第一部をふり返り　ごあいさつ

第二部　懇親会　午後6時30分～8時30分
『まるがめドン！まるがめナイト！』

弘法大師によって開かれた四国八十八か所，お遍路さんとともにやってくる春。この「おせったい」のふる里（香川県）にて，全国塾長・職員研修会が開催されました。全国各地より121名の会員が集合しました。第二部の懇親会，前日（土曜日）の「オプション研修」など活気あふれる研修会となりました。

私塾ネット理事長
湯口兼司ご挨拶
（香川：湯口塾）
（塾歴　35年）→

社団法人
全国学習塾協会会長
伊藤政倫様祝辞
（三重：KSK進学塾）
←

ＮＰＯ法人　　→
学習塾全国連合協議会
東ブロック副理事長
内藤潤司様祝辞
（埼玉：ソロモン総合学院）

第一部は，「伝統の丸亀うちわを作ってみよう」と題して，体験していただきました。みなさん子どものように一生懸命作業をし，純粋な心で楽しんでいました。

（山田塾：山田先生によるコーディネイト）↑

そして，基調講演では，**「人とそして書との出会いどうせ無理をぶっ飛ばせ！」**と題して，喜多川泰先生のお話を聞かせていただきました。

90分間に及ぶ熱い講演を拝聴させていただき，何か心を突き動かされるものがありました。
お話の中には次のようなキーワードがありました。

(1)「子どもたちの生きる力をうばいたくない！」
(2)「賢くなるな！」
(3)「本気でやろう！」
(4)「Bestを尽し，Bestを疑う！」
(5)「want to or have to」　(6)「情熱」

参加された会員の皆様それぞれが思い思いのとらえ方をなさった
のではないでしょうか。

(1)は，私たち塾人がだれしも深く心に刻み，日々努力を続けていることだと思います。世の中には様々な生き方があるということも踏まえ，今後さらに，子どもたちのために頑張らなければいけないと再認識しました。(2)については，“アイスブレーク”の結果からすれば，各々様ざまなとらえ方をしていたようです。年齢による感性の違いがあるかもしれません。また，培ってきた人生観による違いかもしれません。いずれにしろ，大切なことは「表面的なことより内面を磨け！」ということでした。

(3)は，「本気でやれば必ず幸せになる。」「本気になれる人かどうかが大切。」

(4)は，「一度成功しても次にうまくいくと思うと，次は失敗する。」「「成功体験が力量を落とす。」「今できるBestと次にできるBestは違う。」「新しいことを始めると，わかっているということと出来るということは違うということがわかる。」

(5)は，人間は「やりたいこと」を「やらねばならないことに変えている」が，工夫すれば「やらねばならないこと」を「やりたいこと」に変えられる。若竹塾・佐藤代表から「やらねばならないことをやりたいことに変え頑張っていく」というコメントがありました。大切なことだと思います。

私塾ネット事務局長仲野十和田先生(右)による
講師喜多川泰先生の紹介

喜多川泰先生＜プロフィール＞1970年生まれ，愛媛県西条市出身。東京学芸大学卒業。98年に横浜で，笑顔と優しさ，挑戦する勇気を育てる塾「聡明舎」を創立。2005年から作家としても活動を開始し，『賢者の書』にてデビュー。2作目となる『君と会えたから……』は8万部を超えるベストセラーとなった。その後も執筆活動を続け，全11作品を発表。執筆活動だけではなく，全国各地で公演を行い，「親学塾」を，全国で開催中。現在も横浜市と大和市にある聡明舎で中高生の指導にあたっている。

有能なリーダーというのはこのような人のことをいうのだなと思いました。

(6)の情熱は，どなたでもあると思いますが，私自身に限っては，塾人生28年の中で，その情熱は，ある時はあったり，ある時はなかったりで，失いかけたこともあります。
もう一度心を奮い立たせ子どもたちのために「情熱」を取り戻そうと決心しました。

第二部　懇親会，さらに反省部屋での熱気あふれる反省会は，とても盛り上がりました。

（文責　小野塾小野昭，学習塾アカデミー福冨耕二）

司会進行
田中宏道研修部長
（千葉：LAPIS）

私塾ネット会長
谷村志厚
（千葉：AIM学習ｾﾐﾅｰ）

私塾ネットエリア四国代表
寺嶋謙次　ご挨拶
（香川：学習院セミナー）

私塾ネット副理事長
楠山敬志　ご挨拶
（徳島：楠山ゼミナール）

私塾ネット副会長
鈴木正之　謝辞
（東京：いぶき学院）

会場を埋めた堂々120名余の出席者。首都圏と違い私学関係者がいなくてこれ

出席者が仲良くなるアイスブレークのひとコマ、久しぶりに山口名誉会長のお顔も

講演の前から喜多川氏の著作を購入

ヨ！左から寺嶋、渡辺、小野の中堅三羽烏

喜多川氏のサイン会には長蛇の列

普段はお堅いイメージの佐藤先生も美女軍団に囲まれ砂糖のような甘い表情。先生はいつもお若いが赤いネクタイでお年が知れる

長老城先生率いる芸城学院グループの先生方。頼もしい後継者を育てられたのはさすが

下戸の湯口理事長が酔っ払って見えるが、酒には酔わぬが雰囲気には酔うということ

未来の塾を支える私塾ネットジュニアの会、この日10名のメンバーが登壇

第２３回　代表者会議　報告

日時　平成２５年４月１４日（日）　１２：３０～１３：３０
場所　オークラホテル丸亀
出席（敬称略）　東北⇒安藤
関東⇒谷村、鈴木、監物、中村直人、大住、渡辺、仲野
近畿⇒杉山
中国⇒佐藤將紀、
四国⇒寺嶋、湯口、楠山、近藤
定数２５名　出席２０名（委任状出席６名）　⇒　成立
内容　第１号議案　平成２３年度　事業報告及び予定
第２号議案　平成２４年度　事業計画案
第３号議案　平成２４年度　決算報告
第４号議案　平成２３年度　予算案
第５号議案　その他
＊全て全員賛成で可決されました。

全国研修大会が始まる前、ホテル最上階の瀬戸大橋が見渡せる会議室で、代表者会議が始まりました。湯口理事長の挨拶で開会し、議案はスムーズに進み、各エリアの報告をお聞きしました。理事長活動費の提案がありましたが、湯口理事長が固辞されました。ただし、次期理事長のために、この案自体は生かしておいてほしいとの意見をいただきました。最後は、楠山副理事長より閉会の挨拶をいただきました。

アルバムとキャプションで綴る　私塾ネット　渉外部長報告

2013年4月15日(月)
私塾ネット渉外部長　佐藤勇治

１　平成25年(2013)　1月－4月　の活動報告

１、1月15日(火)
文部科学大臣、教育再生担当大臣下村博文氏に
『学習塾の歴史－塾団体五十年史－』および
平成24年(2012)年度『私塾・私学・企業　教育ネット要覧』を各20冊贈呈。
下村氏より直接、ご挨拶状（礼状）を頂きました。

２、1月28日(月)
埼玉県私塾協同組合主催「2013年　教材教具・情報展」
会　場：大宮ソニックシティ市民ホール　401・402
時　間：10：00－14：00
出　展：二十数社出展

３、2月21日(木)
「塾と教育」を励ます会（加藤麻由美代表取締役社長ほか）
会　場：学士会館
時　間：12：30－15：00
参加者：大手塾、中小塾、教育関連企業など166名

「日本の教育の未来を考える会」（下村博文先生文部科学大臣就任をお祝いする私塾人の集い）で右から佐藤勇治氏、下村博文文科大臣と菅谷友豊香氏

４、2月27日(木)
「日本の教育の未来を考える会」
会　場：帝国ホテル「光の間」
時　間：18：00－20：30
内　容：「下村博文先生の文部科学大臣就任をお祝いする私塾人の集い」
参加者：塾団体代表、大手塾・上場企業塾、中小塾、個人塾、教育関連企業代表者など約200名

５、2月上旬－5月下旬
平成25年度『私塾・私学・企業　教育ネット要覧』作成作業に連日追われる。
協賛広告の依頼、塾団体からの「新年度行事予定表・会員名簿・役員名簿」の3点セットの収集、編集、校正作業。

６、4月6日(土)
片山学園中学校・高等学校の入学式典に参加
会　場：片山学園中学校・高等学校体育館
時　間：15：00開式
下村博文文部科学大臣ご出席。

下村博文文部科学大臣講演会
会　場：富山県民会館大ホール
時　間：16：45開演
参加者：1200名・会場超満員のため、ロビーのテレビモニターで放映。大盛況でした。

文部科学大臣下村博文氏歓迎会
会　場：懇親会・ホテルグランテラス富山
時　間：18：10開演
参加者：富山県知事、富山市市長、地元選出国会(衆・参)議員、財界人のほか学習塾関係者など約200名出席

片山学園中学校･高等学校理事長片山浄見氏は午後3時からの入学式典、講演会、懇親会と下村大臣とご一緒しており、歓迎会では開会の挨拶をされた

７、4月13日(土)

東京女子学園中学・高等学校創立110周年祝賀会
会　場：ザ・プリンスパワータワー東京ボールルーム
時　間：13：00開演
参加者：約450名

東京女子学園創立110周年祈念祝賀会が、ザ･プリンスタワー東京ボールルームで開催された。壇上はご挨拶をされる東京女子学園理事長の實吉幹夫学校長

８、『学習塾の歴史－塾団体五十年史－』頒布希望者
インターネットで拡大中。

官公庁、国公立図書館、大学教授、研究者、大学院生などから問い合わせと、購入者の輪、拡がる。
本書は2,000部発行。1,500余部を頒布しました。
残部は約500部。
希望者は、編集長佐藤勇治(TEL　0424‐82‐1481／FAX　0424‐83‐1618)までお問い合わせ下さい。
先日、一般財団法人日本経済史研究所経営史料センターのご依頼により一冊贈呈いたしました。

９、平成25年度(2013)『私塾・私学・企業　教育ネット要覧』≪第13集≫の巻頭言は、文部科学大臣・教育再生担当大臣下村博文衆議院議員が書いて下さいました。頂いた巻頭言に、私が平成11年(1999)から撮って来た下村先生のアルバムとキャプションを加えて巻頭を飾ることに致しました。嬉しい限りです。6月10日発行です。

日本の教育と未来を考える会（帝国ホテル）で学習塾代表の中で挨拶する佐藤勇治氏。右端は私塾ネット副会長鈴木正之氏

東京女子学園創立110年記念祝賀会でご来賓を代表して挨拶を述べる東京私立中学高等学校協会会長の近藤彰郎先生

宮城県石巻市･震災復興学習支援 出前寺子屋レポート

４月２１日、石巻出前寺子屋もこの日の活動で４４回を重ねることとなった。４月も下旬になると、北国宮城でも桜の満開の時期である。石巻には日和山公園という桜の名所もある。関東とは３週遅れの桜を愛でようと期待をしていた。ところが、新幹線が新白河を過ぎると、なんと雪景色である。仙台に近づくにつれ積雪が増してゆく。仙台から車を走らせ石巻に入るのだが、いっこうに雪の止む気配はない。山間の桜が満開なのだが、これに牡丹雪が降り積る。まことに稀有な景色に、おもわず句心が刺激された。

みちのくの桜に雪の薄化粧（酒肴）

さてこの日の指導スタッフは、いつもの我々二人に、船橋市から高橋直子さんが加わった。高橋さんは、出前寺子屋発足時からの後援者のひとりである。昨年長男を出産されたばかりで、現地での活動ができなかったのだが、今回念願の初参加である。これに仙台から東北大生２名が加わった。

この日の寺子屋の出席者は漢検講座19名、英検講座13名の計32名である。お天気が悪く、部活や花見の予定もなくなったのが幸いしたか、出席率はまずまずである。

さて、高橋さんには英検４級講座の指導をお願いした。生徒さんは中学２年生３名に還暦を迎えるご婦人が一人加わる講座である。慣れぬ環境での指導ということもあり、さすがの直子先生も今ひとつ調子がつかめぬご様子であった。

さて次回は５月１２日が４５回目のスクーリングである。この日はもう一度直子先生が参加、そして四国からは湯口理事長が参戦である。２０１１年８月からは始まった活動だが、いまも私塾ネットのメンバーの支援は変わらない。有難いことである。　（文責：谷村志厚）

漢字検定実績・６８名受検中合格者５６名
２級 - １３名、準２級 - １４名、３級 - １２名、
４級 - ６名、５級-６名、６級 - ３名、７級 - ２名
（小中学生１９名、一般３７名）
英語検定実績・１３名受検中合格者１２名
準２級-１名、３級-４名、４級-４名、５級-３名

私塾ネットアーカイブス　江戸時代最後の殿様

名誉会員　石田　治正

私が幼少期の住宅地は広島市上幟町一〇五番地で北側は安芸大名浅野家の別邸があり、南側に広大な敷地は東西に木造平屋建物が一列に八軒並び、そこの住居人はすべて旧浅野家の家臣なのでお互いに親戚同様の交流を重ねた。この住宅地帯の東西数百メートルの野原に古木の松が二十数本並び昼間でも薄暗くて、そこに野鳩十数羽住みつき朝夕に鳴き声が左右になり響いていた。

我が家は東方から二軒目で間取りは入口に木製の門があり玄関は三畳、その右奥に六畳間が左右に二間とその隣りに台所と四畳の板の間が食事場で、その奥に鉄板の五右衛門風呂がある。父は広島市役所に勤務し毎朝七時頃出かけていた。

わが家の前面に浅野家別邸が明治初期に築造され、その中に大型の庭園が広がり戦前は「泉邸」と名付けられていた。その中味は数百坪の土地に廻遊式庭園で小山、小河、大滝、石橋、奇岩などで、その周囲に和風の家屋が二軒あり、池の水は東側の太田川支流から水門で引き入れられていた。築庭は明治初期に大改築され今日の光景を掲示している。

わが家の祖父久雄は幕末の安政六年に出生し士族の上位にあって明治時代士族の道を歩み廿日市町警察署長、廿日市町々長として活躍しその職業が輝いて大正十年に浅野長勲候の要請により浅野家別邸の事務長に就任した。

昭和八年の秋、私が五歳のとき祖父がわが家を訪ねて「今日浅野の殿様が石田の孫に会いたいと言われたので、十時ごろに別邸の事務所に来てほしい」と伝言したので、母親は驚いて私を入浴させ新しい洋服を着せられた。石田家は幕末時代には千石取りの重臣であった。間もなく私は浅野家の別邸の中庭に入り、そこは砂利広場で和室前に莫蓙に座って待機していた。間もなく白髪の殿様と家臣十数名が入室され祖父と私は頭をさげた。すると「そなたは石田家の孫か。」「はい石田治正です。」と返答した。「よく来たのう。元気で結構だ。いつもこの泉邸に来ているそうだが何をしているのか。」「はい、釣り竿と餌を持って川の土手で釣りをしています。」「そうか。釣った魚はどうしているのか。」「はい。帰りに庭園の掃除婦のおばさん達に手渡しています。」「おお、それは親切な心掛けよのう。」「よく出来た孫で石田は幸せ者よ。」私は頭を下げて聞き入った時「これ、あれを取らせよ。」と側臣に伝えお盆に和菓子箱が手渡されたので「有難うご座います」と最敬礼をした。さらに翌年にも訪問した時、庭園のおばさん達の手伝いをして感謝された。

時は流れ昭和十一年の秋から殿様は病身で寝床に伏していた頃、昭和天皇から数回見舞品が送付されたが、その中に丹頂鶴三羽が届けられた時、殿様は突然、白い鶴を観察したいと繰り返したので家臣達の手車に乗せられて笑顔でゆっくり見物したそうです。

時代は流れ昭和十二年七月に日中戦争が始まり、殿様は隠居することなく浅野家当主のまま九十六歳の高齢で死去されたので国内の大手新聞社紙上に大きく報道され、出版社から浅野家の人物像が単行本で紹介された。

私は日本史最後の大名と面接して現在も頭脳に深く残っているので貴重な体験を皆様に伝えたい。

直子先生の育児日誌
最終回

エリア関東広報部長　髙橋直子

私塾ネットの皆さん、今まで大変お世話になりました。今年の3月で自塾を閉じましたので非常に寂しいですが同時に私塾ネットを退会致しました。したがってこの育児日記が最終回となります。今までお読みいただき誠にありがとうございました。

さて前回の記事で息子の便秘が心配…と書かせていただきましたが、嬉しいことに最近快調でございます。何か特別良い方法が見つかったという訳ではないのですが、実質2月で塾の仕事が終わり、それ以降一緒にいる時間が増えたのでそれが良かったのか、この子の成長とたまたま重なったのか、確かなことは分かりませんが、とりあえず好調でほっとしています。もし一緒にいることが理由なら、今まで随分と負担をかけてきたことになります。子供は何も言えないですからこちらが察してあげないといけないですね。あるいは離乳食が進み、食事の時はやや多めに水分を摂らせているので、それも良かったのかもしれません。私は自分の子供だから多少嫌がってもやや強引に飲ませますが、祖父母だとそこまではしないかもしれません。何はともあれ一安心です。

また最近はさらに情緒が発達してきまして、表情が豊かにそして自己主張をはっきりするようになってきました。楽しくて笑ったり、危ないからと遊んでいるものを取り上げられると怒ったり、喜怒哀楽が見られ大変ですけど人間らしくなってきて面白いです。

ただ辛いのは後追いが始まりゆっくりトイレにも行けないのと、寝る時は母親じゃないとダメなことです。基本的にべったりなので家の中のことが思うように進まない、そんな日々が毎日続き、2人きりでいると段々息がつまりそうになります。子供はもちろんかわいいですが、「たまには朝までゆっくり寝たいな～。」「一人でゆっくりお出かけしたいな～。」というのが今の私の望みです。

そんな息子も1歳になります。ここまで何とかやってこられたのは家族の協力のおかげであり、すくすくと成長してくれたこの子のおかげです。これからも全体のバランスを見ながら私なりにできること、誰かのお役に立てることをしていきたいと思います。もし何かのご縁でお会いすることがありましたらその時はどうぞよろしくお願い申し上げます。

今まで本当にありがとうございました!!

幸福人生のための１１か条

エリア関東代表　長江　勝秋

私が週２回通っているリハビリ老健施設の掲示板に「幸福人生九カ条」というのが掲示されています。
いわく

１　良き友人をもつこと
２　良き語らいをもつこと
３　旅をすること
４　バランスの良い食事を摂ること
５　適度な運動をすること
６　趣味をもつこと
７　よき本を読むこと
８　よき言葉を聞くこと
９　よき思い出を持つこと

なかなか含蓄に富んだ文章だと思っておりましたが、私は私塾ネットの活動でこの大部分は達成し満足しております。しかし、

１０　よき仕事を持つこと
１１　よき伴侶を持つこと

の、２カ条を加えて１１カ条にしたいと思います。

閑話休題

編集長　谷村志厚

4/14、丸亀での全国研修大会は大成功。パワーと結束、勢いあるところに成果が生まれる。こんなことを実感するのも、こちらがロートルに足を踏み入れたせいであろうか。ここいらで猿でもできる反省というものをしておこう◆4/21、石巻出前寺子屋４４回目の活動である。ネットとＪＡＣの仲間である高橋直子さんが参加してくれた。昨年長男を出産し外出もままならなかったのだが、一年を経て念願の石巻行きであった。ご承知の通り彼女は全国模擬授業大会で最優勝賞を取ったことのある、塾講師のプロ。彼女の参加で寺子屋がピリッとしまった◆4/28、長江関東代表を神奈川県川崎のご自宅に訪ねた。鈴木副理事長と中村直人さんの発案である。わせて１６日の関東総会の会計報告の打合せ。当方関東の会計監査役なのでサインとハンコひと押しでお役目終了。この項についてはエリア関東のレポートに詳しい◆5/5、３日からゴールデンウイークの４連休である。土日をはさんで連休が取れるのはこの期間しかない。４日に住まいの大掃除と部屋の移動を行う。ところが慣れぬことをやるとこうなるのか、その晩からたちの悪い風邪をひきこんでしまった。翌５日から快晴の２日間を、家を一歩も出られず、もんもんと寝床で過ごす。お陰で５日着手し６日仕上げるはずの当広報も、７日からの編集となって大慌てとなってしまった。そして今日９日、無事刊行である。めでたしめでたし。

私塾ネットセンター　事務局通信

事務局長　仲野十和田(ナカジュク)

悪徳ネット商法に注意！

4/14、全国研修大会は、大成功に終わり嬉しく思っています。エリア四国の方々、湯口理事長の無茶ぶりの中、チームワーク良く行動されているのが、とても印象的でした(笑)。

さて、お恥ずかしながら、最近、私どもの塾に起こった怖い出来事を、シェアします。

4月中旬。心当たりのないXから電話がありました。

「そちらにAさんはいますか？」

本部教室　教室長「今日はまだ来ていません」

実は、Xとは、ネットを利用した、悪徳やみ金業者。Aは我が塾の時間講師(40代)。Aに事の次第を訊ねてみると、およそこんな感じです。

「お金がなくて、ネットの『個人貸付』というところにアクセスした。銀行口座と勤め先を入力すると、先方から電話があった。内容は、2万円借りて、10日後に4万円を返すと、それが実績になり、その後必要な金額を低利息で融資するというもの。結局、10日後2万円しか返せず、利息をさらに1万円請求され、3日後に3万円を返すと(合計5万円返済)、入金時間が遅いと、いちゃもんを付けられ、更に利息や精神的慰謝料などを請求される。もう、どうしようもなくなって、電話にでないでいると、矛先は勤め先になった。」

とにかく、本部のメインの電話にかかってくるので、難儀でした。

取ると「Aはいるか！」「隠してるんだろ！」

電話を切ると、間髪入れずにかかってきます。

周りの職員や生徒も、異常な様子に気付き出します。

この日は、教室長が電話を切れずに、およそ3時間半、電話を切れずに対応。

翌日、電話はさらにエスカレートし、他の2教室にも嫌がらせの電話が…。

内容も

「生徒がどうなってもいいか！」

「今からそっちへ行くから待ってろ！」など。

警察に相談に行くと、

「やめるように電話を入れますよ」と、言ってくれたのですが、私が、

「それで、納まりますか？」と尋ねると、

刑事さん曰く、

「納まる場合もあるけど、エスカレートすることもあります。」と。

それでは困るので、連絡は取らないでもらいました。

結局、Aが相談した、やみ金専門の弁護士が、Xと連絡が取れてからは、電話はなくなりました。何もなく済んだことは良かったですが、スタッフが受けた精神的苦痛は大変なものです。とにかく、相手と会話をしないことが大事で「レコーダー」「ナンバーディスプレイ表示」「着信拒否設定」が有効だと思います。

ネットを使った犯罪は、相手の顔が見えないだけに不気味です。再犯を防ぐためにも、いろいろな方にシェアしてください。

フォート・ほっとコラム

木霊　＜やまびこ＞

おじィさんの塾経営　その2　◇人生は木霊◇

新緑の季節の登山は残雪もあり、美しい自然に出会える絶好の季節です。デジカメ片手にふらりと出かけてみるのも気分転換にいいかと思われます。

山では自分の存在を雄大な自然に知らしめるために「ヤッホー」と大きな声で叫んで木霊を楽しんだりしますが、塾の経営においてもこの声掛けが必要のようです。

声掛けはまず教室において生徒にいい言葉をかけることから始めましょう。特に「すごいね」という言葉は子供の学習意欲を引き出す最良の薬で、これにより学ぶ楽しさを知り、学習意欲が高まります。「なんだ、こんなこともわからんのか」「やる気がないのとちがうか」など子供の人格を否定する言葉は禁句にしましょう。

木霊同様、いい言葉にはいい言葉が返ってきますし、反対に悪い言葉には悪い言葉が返ってきます。そして悪い言葉には先生やその先生の教える教科が大嫌いという感情まで生まれ、「塾は嫌い」「塾に行きたくない」など塾離れのおまけまでもがつくことになります。

私自身、高校時代に数学の先生に「背理法というのはどういうことですか？」と質問したことがあります。その回答が「なんだ、お前。そんなことは教科書に書いてあるだろう。よく教科書見ろ。お前がちゃんと勉強してないからわからんのだ」でした。悪いのは確かに自分ですが、残念ながらこの言葉以来その先生に質問することもなく、受け入れられなくなりました。子供にもそれなりに誇りがあり、その誇りを傷つけられてしまう言葉をかけると、どんなにいい先生？でも決して受け入れることはしないでしょう。日ごろから生徒一人一人をかけがえのない存在に思い、言葉を大切にしていい言葉がけをして指導したいものですね。

また父兄に対しても謙虚な気持ちで接するとともに、そのお子様の素晴らしい点を見つけてしっかりと伝えましょう。「お宅のお子様は本当にすごいですよ」と。

正義の教育者などと奢らず、下から目線で語りかけ、子供の直すべきところはストレートに伝えるのではなく、軽くオブラートに包みながら話しましょう。教育をかざして真っ向からあたるととんでもない結果を招きます。それに父兄は塾生募集の窓口です。よい評価を頂けるよう細心の注意を払っておきましょう。

さらに小学生全体、中学生全体、高校生全体の父母集会を持ち、それぞれ勉強することの大切さと継続を力説し、次なる塾生への種をまくことも忘れないようにしましょう。

最後に世間に対しても何らかの手段(チラシ、校門配布、ダイレクトメール、塾生への配りもの、ホームページ等々)を通じ塾の存在を知らしめましょう。

売れている車ほどよくコマーシャルを見かけるように、いまは告知の時代です。繰り返し知らせることが大切です。自塾のコマーシャルできるアイテムを考え、しっかりと良さをアピールしておきましょう。

「人生は木霊。」職員をはじめ周りの人にもいい行動やいい言葉がけをして、積極的な姿勢で今を楽しみましょう。

(文＆写真:城忠道・エリア中国・芸城学院)

賛助会員一覧（順不同）

関東国際高等学校　村山ｻﾝﾄﾞﾗｰ先生
東京都渋谷区本町3-2-2　TEL03-3376-2244

江戸川学園取手中学高等学校　竹澤　賢司先生
茨城県取手市西1-37-1　TEL0297-74-8771

十文字中学高等学校　夘木　幸男先生
東京都豊島区北大塚1-10-33　TEL03-3918-0511

東洋高等学校　丸茂　隆 先生
東京都千代田区三崎町1-4-16　TEL03-3291-3824

桜丘中学高等学校　品田　健 先生
東京都北区滝野川1-51-12　TEL03-3910-6161

聖徳大学附属中学高等学校　川並　芳純先生
千葉県松戸市秋山600　TEL047-392-8111

麹町学園女子中高等学校　大野　博人先生
東京都千代田区麹町3-8　TEL03-3263-3014

春日部共栄中学高等学校　宇野　禎弘先生
埼玉県春日部市上大増新田213　TEL048-737-7611

大成高等学校　岡田　政雄先生
東京都三鷹市上連雀6-7-5　TEL0422-43-3196

東京学園高等学校　須藤　勉　先生
東京都目黒区下目黒6-12-25　TEL03-3711-6641

東京立正中学高等学校　藤井　教戒先生
東京都杉並区堀ノ内2-41-15　TEL03-3312-1111

八雲学園中学高等学校　横山　孝治先生
東京都目黒区八雲　2-14-1　TEL03-3717-1196

関東第一高等学校　副田　康孝先生
東京都江戸川区松島2-10-11　TEL03-3653-1541

武蔵野中学高等学校　鏑木　文夫先生
東京都北区西ヶ原4-56-20　TEL03-3910-0151

和洋国府台女子中学高等学校　西山　紀子先生
千葉県市川市国分4-20-1　TEL047-371-1120

新渡戸文化中学高等学校　鈴木　泰　先生
東京都中野区本町6-38-1　TEL03-3381-0196

文京学院大学女子中学高等学校　嶋田　栄司先生
東京都文京区本駒込6-18-3　TEL03-3946-5301

東洋大学付属京北学園　野中　政廣先生
東京都北区赤羽台1-7-12　TEL03-3941-6253

大森学園高等学校　矢部　一紀先生
東京都大田区大森西3-2-12　TEL03-3762-7336

東京成徳大学中学高等学校　増澤　文徳先生
東京都北区豊島8-26-9　TEL03-3911-2786

日本工業大学駒場中学高等学校　河村　文夫先生
東京都目黒区駒場1-35-32　TEL03-3467-2130

青稜中学高等学校　笠松　芳幸先生
東京都品川区二葉1-6-6　TEL03-3782-1502

東京女子学園　実吉　幹夫先生
東京都港区芝4-1-30　TEL03-3451-6523

駒込中学高等学校　河合　孝允先生
東京都文京区千駄木5-6-25　TEL03-3828-4141

愛国中学高等学校　高橋　英夫先生
東京都江戸川区西小岩5-7-1　TEL03-3658-4111

日本橋女学館中学高等学校　園田　義宣先生
東京都中央区日本橋馬喰町2-7-6　TEL03-3662-2507

安田学園中学高等学校　福谷　隆芳先生
東京都墨田区横綱2-2-25　TEL03-3624-2666

科学技術学園高等学校　船津　和良先生
東京都世田谷区成城1-11-1　TEL03-5494-7711

日本音楽高等学校　伊庭　崇　先生
東京都品川区豊町2-16-12　TEL03-3786-1711

立正中学高等学校　今田　正利先生
東京都品川区大崎4-2-16　TEL03-3492-4416

上野学園中学高等学校　高橋公美子先生
東京都台東区東上野4-24-12　TEL03-3842-1021

二松学舎大学付属高等学校　舘野　宏　先生
東京都千代田区九段南2-1-32　TEL03-3261-9288

村田女子中学高等学校　二渡　道雄先生
東京都文京区本駒込2-29-1　TEL03-5940-4187

自由学園（中等部・高等部）　更科　幸一先生
東京都東久留米市学園町1-8-15　TEL042-422-3111

帝京中学高等学校　大谷　幸男先生
東京都板橋区稲荷台27-1　TEL03-3963-4711

京華学園　今野　巌　先生
東京都文京区白山5-6-6　TEL03-3941-6493

千代田女学園　長尾　和雄先生
東京都千代田区四番町11　TEL03-3263-6551

日出中学高等学校　大江　律夫先生
東京都目黒区目黒1-6-15　TEL03-3492-3388

目黒学院中学高等学校　阿部　幸彦先生
東京都目黒区中目黒1-1-50　TEL03-3711-6556

共栄学園中学高等学校　松宮　博　先生
東京都葛飾区お花茶屋2-6-1　TEL03-3601-7136

東京家政学院中学・高等学校　滝沢　保一先生
東京都千代田区三番町22　TEL03-5245-6534

東京女子学院中学・高等学校　宗内　信二先生
東京都練馬区関町北4-16-11　TEL03-5903-9559

(株)創開コミュニティー　小林　和光様
千葉県柏市柏2-7-22-202　TEL04-7164-6511

ドラゴンフィールド㈱　和田　功　様
千代田区神田錦町3-23錦町ビル8　TEL03-5282-3174

㈱パワーコンサル　大島　義則様
渋谷区渋谷1-7-7 青山通りビル12Ｆ　TEL03-5928-1686

㈱私塾界　山田未知之様
豊島区東池袋1-39-1三善ビル　TEL03-3987-0838

㈱ＳＲＪ　板橋　玲　様
港区芝公園2-4-1柴パークB館102　TEL03-5425-6534

デザインオフィススズキ　鈴木　学　様
千葉県柏市柏687-6　TEL04-7164-8276

(株)ぱど　田中　和博様
品川区大崎2-13-17 目黒東急ビル　TEL03-5155-8122

(株)エドベック　千葉　貴広様
横浜市中区山下町25-15 ﾌｭｰﾁｬｰ山下　TEL045-226-5494

(株)学研ｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾅﾙ　伊藤　龍男様
品川区西五反田2-11-8　9F　TEL03-6431-1337

(株)ｱﾘｽ・ｲﾝｽﾃｨﾃｭｰﾄ　中嶋三十浬様
埼玉県富士見市関沢2-14-8 ｻﾝｾﾞｰﾑ101　TEL049-293-8056